

(令和2年10月26日)

10月25日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、市内で新たに125例目（県内141例目）となる感染者が確認されました。

この方は、松江市内在住の20歳代の女性です。

10月22日に発熱及び頭痛の症状があり、市内の医療機関を受診されましたが、同日の夜には解熱し、その後、症状はありませんでした。

10月24日、本人からの帰国者・接触者相談センターへの相談及び県外の他自治体からの情報提供を受けて、県外の感染者との接触情報をもとに松江保健所が調査を行い、検体を採取しました。翌25日、島根県保健環境科学研究所で検査を実施し、陽性であることが判明いたしました。

現在は、症状がないことから保健所の指導のもとに自宅で待機し、本日、感染症対策を講じた医療機関に入院予定です。

昨日行った行動歴調査の結果、濃厚接触者を特定しており、すでに健康状況の確認および行動歴の聞き取りを行っております。また、本日検査を実施しています。

現在、全国的な感染状況は横ばいから微増とされています。移動制限も解除され、都市部から地方への流入も散見される中ではありますが、今までにもお話してきました通り、だれでもかかる可能性のある感染症です。

市民の皆様には、過剰に心配することなく、引き続き、感染予防の基本である「手洗いの励行」、「マスクの着用」、「3つの密を避ける」を徹底いただき、感染対策に努めていただくようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症への不安から、偏見や差別、誹謗中傷などにより、患者さんやその関係者の方を傷つけたりすることなく、互いに思いやりの心を持っていただきますようお願いいたします。